

告知板

※年報「才二集」発刊
「農地改革と農民運動」

時潮社 刊

A5版二四四頁

定価三〇〇円

(内容)

部落構造と農民運動

大内 刀

部落の「平和」と階級的緊張

福武 直

養蚕先進地における農民運動

その背景

松原 治郎

「共進村」における農地改革と農民運動 生田 清
名子制度と農地改革 木下 彰

給与者同盟会の成立とその条件 後藤 和夫
神谷 刀

農民運動に関する主要な文献と資料 内山 政照
松原 治郎

農民組合の系譜図について 向 (一九五四、七一五、五六)

村落史の研究 中村 吉治
小池 基之

経済学における村落研究 渡辺 洋三
社会学における村落研究 内藤 莞爾

社会学における村落研究 内藤 莞爾

社会経済的地位尺度 (Socio-Economic Status Scale) 西田 春彦

◆ 本会会員とその紹介者は 「二五〇円」に特別割引

本会が一年度の研究課題「農地改革の村落社会に及ぼした影響」とが二年度課題「農地改革と農民運動」についての諸報告を精選して一冊としたもの。農地改革に関する多数の論著中、農民運動との連関において問題をとりあげたものとしめはおそらく類書を見ないで、わめて異色の業績と称すべきでしょう。附載の文献資料目録、農民組合系譜図も、また有益です。なお、巻末に過去一ケ年の村落研究の動向を、歴史学、経済学、法学、社会学の各分野別に展覧した適切な論評が附されています。会員の方々はもちろん、ひろく同好の人々におすすぬ願います。会員およびその紹介者には、特に「二割引」「二五〇円」でお頒ちできますから、「時潮社」宛に御申込頂きたい。さらにできるだけ、各研究室でとりまとめ、御さばき下されば幸甚です。(この場合も割引は同様)。なお年報の売上げが、本会の運営を左右することになるので、その

点を充分御考案の上、何卒よろしく各位の御尽力を御願いをいたします。

◆ 共同調査への提案を

大会記事でごらんのように、来年度も共同課題として「農家人口と家族構造」の問題を継続して検討することになりました。どうぞ、それについて「具体的な提案」をどうぞ、御出し下さい。とくに大会に御出になれなかつた方々の御意見をうかがいたいと存じます。問題を全会員のものにして、充全の準備をもつて次の大会にのびたいというものが大阪大会の協議会での結論でもありました。「研究通信」への投稿を期待しています。

◆ 事務局 (研究通信発行所) の移転について

十一月から、本会の事務局、研究通信発行所を左記へ移しました。今後は、会館の連絡や研究通信への投稿などは、新事務局宛にねがいます。但し、振替貯金口座(東京一三二八八番)は従来通り東京に残してありますので、会費の納入その他送金関係は、旧事務局(東京教育大又は東大の東京支部)宛にねがいます。なお、年報編集事務局は、東京支部で従前どおり扱います。(新事務局)

仙台市片平丁 東北大学教育学部研究室内(竹内利美氏附)

村落社会研究会事務局

「事務局、研究通信発行所は会員の所属する各大学研究室の輪番担当とする」という本会会則の附則にもつき、才三回大会における総会で、事務局を仙台市東北大学門に移すことになりました。大体一年交代で今後とも会務を各地方支部単位で分担してゆくことをこの際再確認したいと存じます。

◆ 会費の払込について

三十年度の会費未納の方は早急に払込み下さい。(三百円)。会費はなるべく各支部で便宜とりまとめ、御払込下されば幸です。(振替口座をなるべく御利用下さい)。

◆ 三十年度会費納入者(十月末現在)

- (あ) 行 大橋薫 奥田和彦 井森陸平 飯島源次郎 安藤慶一郎
 - (か) 行 有賀喜左衛門 生田清 栗谷清次 後藤和夫 甲田和衛 小山隆 小池基之 神谷刀 木下彰 諏訪園岩雄
 - (さ) 行 高野史男 竹内利美
 - (た) 行 西田春彦 中島龍太郎 南清彦
 - (な) 行 蓮見音彦 原宏 林稲苗 福武直 服部治則
 - (ま) 行 森正夫 森岡清美 マクナイト
 - (や) 行 米林富男 山岡栄市 山本登 山田敬道
- ◆ 新しい会員名簿の頒布
新しい会員名簿ができました。大会参加者には御頒けしましたが、他の方々にもできるだけ利用して頂きたく、御申込下さい。(実費送料とも三十円、切手代用で結構です)
- (追いがき)
新事務局版の才一号をようやく御届けする段取りになり、まず一息、不十分だらけと存じますが、何卒遠慮のない御忠言をおねがいます。ドーア氏を先着に続々御寄稿がありおかげさまで形がつきました。(竹)